

# 令和3年度スター

☆4月1日 入職式☆



5名のフレッシュな職員を迎えま

## ☆勤続10年表彰☆ ☆新施設長就任☆



これからも頑張りま



初めての訓示

# 里だより

No.352

令和3年5月1日

一発行一

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



五月号もくじ



新入職員あいさつ・ 編集後記……………8	退職者あいさつ……………7	行事予定・ ありがとうございました・ 行事報告……………6	サービス向上委員会より・ 行事報告……………6	職員より・事務局より……………5	主任より……………4	サビ管より……………3	施設長より……………1
-------------------------	---------------	-------------------------------------	----------------------------	------------------	------------	-------------	-------------

(ページ)



# 施設長より



## 就任のごあいさつ

例年より早く咲いた桜も、鮮やかな新緑に変わり、夏へ向かっていることを教えてくれます。ご家族・後見人並びに関係各位の皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

この度、令和三年四月一日付をもちまして、施設長に就任いたしました。平成三年八月一日に開設し、河野元施設長から小川前施設長へ引き継がれたバトンを受け継ぐことになりました。微力ではございますが、鋭意努力してまいりますので、ご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

さて、法人理念他、令和三年度の基本方針は次の通りです。

### 法人理念

「自律と自由」… それぞれの自律にのっとった自由

「畏敬と信頼」… お互いの信頼関係に基づく畏敬の念

### 経営理念

私達は地域社会に開かれた、地域社会に愛される、地域社会に信頼される施設であることを目指します

### サービス方針

私達は誰からも満足いただける福祉サービスの提供・改善・情報の伝達に努めます

## 基本方針

利用者が、生きがい・喜びを実感し、充実した生活が送れるよう、利用者支援における満足度の向上、重度・高齢化対策、感染症予防、安心・安全のためのリスク管理等を実施する。

施設開設三十周年の節目にあたり、原点に立ち返り、施設の設定経緯、利用者の暮らしを見つめ直し、利用者理解及び、援助者としての自己理解を深め、さらなる利用者支援の充実、質の向上に努める。また、社会福祉援助者としての価値を見出し、専門職としての円熟を目指す。

## スローガン

「めくばり、きくばり、おもいやり、ありがとう」

今年度より基本方針を変更いたしました。つくしの里は、令和三年度に三十周年を迎えます。その節目にあたり、原点に立ち返り、施設の設定経緯、利用者の暮らしを見つめ直す必要があると考えました。以前も記載しましたが、左記の文章は、十周年誌に当時の保護者会長が寄せられたものを抜粋しています。

「はじめは十数名の会員でしたが平等に金を出して土地を購入したものの地元の猛烈な反対運動にあい、無念の涙を流してその土地をあきらめました。その理由は、その土地に障害者がきたら女性は夜間外出も出来ない。万一事故がおきた時は、誰が責任をとるか、つめよられ、戸別に雨の中を全戸お願いして回りま

したが、冷たくあしらわれ、障害者に対する理解の無さにただただ情けなく無念の涙を流すのみでした。

現在の平川の土地は六ヶ所目です。記録ノートにはその間の事は詳しく記録されていますが、書面には書き尽くせません。その点、平川地区の方々はよく理解していただき、暖かく受け入れてくださいました時は、一同感謝の涙を流し喜び合いました。」

当時の設立準備委員の方や、想いを語られる方も少なくなりました。しかし、この想いは受け継ぎ、引き継ぎつつ、小川前施設長が就任された際に職員に示された「伝統は変化を積み重ねた先に生まれる」を実行していかなければなりません。

外来者の応対、人材の確保、地域との関係性の構築をする際に、この法人・施設設立の経緯は、私たちつくしの里の大きなPRポイントの一つです。それをスタッフが理解して、ご家族の想いを汲んで、利用者支援するにはどのようなことが必要なのか気づき、考えなければならぬと思います。どのようなところで生活したいか、させたいか、家族の立場に立って、または利用者の立場に立って考えてみる努力をするようにしたいと思います。

また、利用者理解として、「この利用者さんは、こうだ。」と決めつけて、利用者さんの可能性をあきらめることのないよう、再度、利用者を知るアセスメントの必要性に気づき、私たちが知らない利用者さんの一面や強みを見つけないと思いません。

そして、援助者の自己理解を深めることで、支援する自分を知り、自らの個性を理解したうえで、どのような支援が適切なのかを吟味し、持ち味を活かした支援を心掛け活用し成長すること。

利用者さんも様々な個性を持ち合わせていらつしやいます。援助者も様々です。お互いがお互いの人生にとって深みを増せる関係を構築してもらいたいと思います。

この他、援助者として、自分たちが行っている支援そのものや、それを取り巻く環境(自分自身や同僚、利用者さんを取り巻く人、物)、様々なものに対して感謝の意を持ち、価値を見出せなければ、人が人を傷つける要因になりえます。その「人」とは、他人だったり自分自身だったりします。価値を見出し、専門職としての円熟を目指すことは、虐待・ハラスメントの予防や、ここに記載してある、法人理念、経営理念、サービスマニュアル「めぐり、きく、おもしろい、ありがとう」にもつながるものだと考え、今年度の基本方針に盛り込ませていただきました。

社会福祉援助者の私たちは、「支援員は支援員として」「看護師は看護師として」「栄養士は栄養士として」「事務職員は事務職員として」「役職者は役職者として」、利用者さんが幸せに生活される暮らしとは何かを考える必要があります。

これは一朝一夕にはいかないことも事実です。また、福祉サービスを提供する上では限界もあり、ジレンマや力のなさにさいなまれることもあります。皆様のお力添えをいただきながら、職員で協力し合い、一歩ずつ前に進んでいきたいと思えます。今後ともよろしくお願いいたします。



施設長 松永一博

## サビ管より

四月一日、約二週間の研修を終えた五名の新入職員を迎えました。新入職員が入る度に、五歳違うのか、十歳、一回り違うようになっただかと思っていたら、昨年度から二十歳は違うようになりました。親子ほどの開きがある中で、ついていけない、理解できないことも多いですが、福祉の仕事をしたいとつくしの里を選び、「早く一人前になりたい」と言っている姿を信じて、見守っていきたくと思っています。

さて、前回、利用者満足度アンケート結果について書かせて頂きましたが、今回は、「職員以外にも相談できることを知っていますか」という項目を抽出して書きたいと思います。

平成三十年度の調査で「知っている」が二十二%でした。そのため、平成三十一年度の第一回施設・後見人・家族情報交換会で苦情解決第三者委員の吉田様にご登壇頂き、第三者委員会の事について再度説明させていただきました。令和二年度の調査では三十七%と改善はしていましたが、まだまだ認知が足りていないなと思います。情報交換会にご来園頂いていない方へお知らせするため、今回は、里だよりの紙面を活用し改めてご紹介いたします。

利用者の方の相談を出来る場を作るのと認知を高めるために、昨年度から第三者委員の方に利用者の聞き取りを実施してもらう予定でしたが、新型コロナウイルスの流行によって実施できていませんので、感染が落ち着いたら実施していきたいと思えます。

### 【第三者委員】



元大津町社会福祉協議会事務局長

尾田 一広 様



高齢者施設 看護師

長島 章子 様



大津町民生員児童員協議会会長

吉田 和信 様

※五十音順に掲載しております。

その他、苦情解決に不満がある場合など、次の機関へも申し出をすることが出来ます。

大津町役場福祉課 電話：〇九六―二九三―三一一

熊本県福祉サービス運営適正化委員会

電話：〇九六―三二四―五四七一

事業所としては、なんでも言っていただけの関係を築いていくことが大切だと思っておりますが、施設以外にも相談や苦情を申し出ることが出来る場所があるということをお知らせします。

令和三年度が始まり、一カ月が経とうしておりますが、今年度もどうぞよろしくお願い致します。

支援課長 木庭 由香

## 主任より



### 体を動かせること

昨年十二月、新型コロナウイルス感染症の熊本県独自の緊急事態宣言が発令された頃、私は運動をしなくなりました。そのまま気が付けば三月末。体重増は歯止めなく、筋力も衰えを感じ、四十肩の痛みも出て、体を動かすこと自体が嫌になっていきました。その後、痛みのある生活は勘弁だと思い、ようやく体を動かすことを意識し始めましたが、運動公園を一キロメートル歩くだけでも気力が湧かず中断し、バドミントンクラブに通うものの、力が入らず手足がばらついて、まとまりのある動きが出来ない等、筋力の低下を強く感じました。

それからは、山道の上り下りで足腰を強化し、食事調整の日々。二週間ほどしてようやく「体を動かしたい」という気持ちももてる程度に回復しました。

痛みや体の動きの鈍さ、重さを感じて筋力の低下を認識し、自分の意識を変えること、体を動かす事の大事さを改めて実感できました。

利用者さんによっては、自分の体の状態を判断することが難しく、痛みがあっても気づけない、訴えることができない場合があります。

体を動かして体力をつけるにも、体の動かし方がわからない、何のためにしているのか意識ができない、自ら動くことが危ないとの判断から職員が制限をかけることも日常的にあります。

個々に適した支援を手探りで模索していますが、できることは僅かだと感じていました。

そのような中、今年度より月一回、理学療法士に来ていただくことになりました。

専門知識をご教授頂き、利用者さんの自発的な動作が安定して、機能の維持や回復につながっていくのではないかと、大きな期待をしています。支援員として、適切で的確なりハビリと支援で、利用者の方が安全で安心できる、何よりも自分で体をよりスムーズに動かすことができる喜びを感じていただけるようになればと思います。

主任支援員 池田 亜紀

### 施設PR委員会 今月の1枚！



少し前の写真になりますが、ホワイトデーイベントでの1コマ。うっとりした

た

## 職員より



4月に入り桜も終わり、大津町の有名なツツジが見ごろを迎えています。しかし、職員の多くは昨年度の引継ぎと新年度の申し送りなどで手いっぱいの状況です。3月下旬に新体制が発表されて以降、各職員とも日付と時間を見ながらなんとか申し送りの調整をしているようです。例年この光景を見ていますが、今年は特に忙しく感じます。

私事ですが、生活介護班3班から4班へと異動になりましたが、昨年度の業務を残したままになっており、「新年度」への移行ができていません。一つひとつチェックしながら何とか終わらせているところです。

そんな中、利用者さんと一緒にドライブに出かけたとき、路上に咲くツツジを見ました。赤やピンクなど色とりどりの花を咲かせ、“春のひととき”を感じることができました。各職員からの申し送りを受け、利用者の皆さんに不便をかけないように取り組んでいきたいと思えます。  
(支援員 北島)

新年度に入り、利用者さんの大きな班の異動はありませんでした。私も引き続き生活介護班5班に所属する事になり、今年で3年目となります。

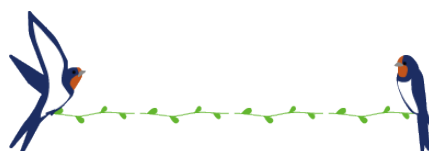
担当の人数は減りましたが、メンバーに変わりはありませんでした。その中で今回はNさんの話をしたいと思えます。Nさんとは、5班に異動してすぐ初めて担当させてもらい、2年間担当させてもらいました。今回、5班に新入職員が2名配属された事もあり、Nさんの中では「担当は変わる！」という意識が強かったようで、年度末の新入職員研修の頃から「あん人になるとだろ？わからすかな？」「あの人が良いわ〜」「今までありがとう」等と冗談もあるでしょうが、よく言われていました。

しかし、いざ発表の際、私が担当だと知ると「あんたね？ああそうか」と落胆した様に言われました。今まで2年間、私なりに努力をしてきましたが、まだまだ至らない事があったのだと、更に頑張らなければ！と強く思いました。とりあえず1年、また落胆されないように頑張っていきたいと思えます！  
(支援員 村上か)

## 事務局より

昨年度は産休代替の事務員としてお世話になっていましたが、4月より正職員として改めてつくしの里で勤務することになりました。これからも利用者さんと過ごせることを、とても嬉しく思えます。

コロナ禍で行事や面談が中止となり、中々ご家族の方ともお会いする機会が少なかったですが、まだつくしの里に慣れていない私に電話などで温かくご対応いただき、とても助けられています。心より感謝申し上げます。まだまだ未熟で、利用者さん、ご家族の皆様にご迷惑をお掛けしますが、精一杯業務に努めて参りたいと思えます。今後どうぞ宜しくお願い致します。  
(事務員 樋口)



## サービス向上委員会より



### ■ 食事・口腔衛生【支援員 松若・東・池崎】

利用者さんの食事や口腔衛生について考え活動する委員会です。

食事の姿勢や食事の形態が利用者さんに適切か言語聴覚士にみてもらい、評価しています。利用者さんの嚥下の状態にも変化があるので、変化に合わせた対応が必要です。しっかり確認してもらい、日常の支援に活かしていきたいと思っています。

また口腔衛生も大切な事です。口の健康が体の健康にも繋がります。利用者さんの歯の状態を歯科と相談して適切な歯ブラシ等の歯科器具を選び、口の中を清潔に出来るよう利用者さんや職員に知らせていきます。利用者さんが美味しく楽しく食事が出来、健康のお手伝い出来るよう3名の委員で1年間頑張っていきます。(支援員 松若)

## 行事報告 ※ 3/21 (日) ~ 4/20 (火) の実施分について報告いたします

### ◆ 施設・後見人・家族情報交換会【3月27日(土) 大津町生涯学習センター】

今年度、初開催となる施設・後見人・家族情報交換会は、新型コロナウイルス感染症対策として、「持ち込ませない」「密を避ける」という観点から、会場を大津町生涯学習センターへ変更させていただきました。

内容としては、令和3年度の事業計画並びに組織体制について報告させていただきました。何かわからない点やご不明な点があれば施設にご連絡ください。当日は、場所を変更しての開催となりましたが、多数のご家族の方にご出席いただきました。ありがとうございました。欠席されたご家族の方には、資料を郵送させていただきましたので、ご確認ください。令和3年度もどうぞよろしくお願い致します。(支援係長 竹下)



### ◆ 入職式・永年勤続表彰【4月1日(木) つくしの里】

今年度は5名の新入職員を迎えました。この内4名は新卒の支援員で1名は中途採用の事務員です。毎年、入職式では新入職員代表による「誓いの言葉」が述べられますが、今年の代表者は自ら立候補したこともあって、元気よく、しっかりと誓いの言葉を伝えられたようです。新入職員は、やはり初々しく、春を迎えた事業所全体が新しく生まれ変わる気がします。特に、施設長交替という大きな組織体制の変更もあり、新入職員と一緒に新たな体制を整えていきたいと思えます。

また、勤続10年として3名の職員が表彰されました。3名には、新入職員を始めとする後輩たちをしっかりと育成し、利用者支援により一層尽力してくれることと、今後益々の活躍を期待しています。(業務課長 光永)

## 行事予定



新型コロナウイルス感染症対策に係る**熊本県のリスクレベルが5（厳戒警報）**に引き上げられましたので、行事予定を変更しました。

### ☆ つくしんピック（つくしの里）

期 日：5月11日（火）

内 容：状況をみながら対応します



☆ 5月の通帳確認・面談は延期します

ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和三年三月二十一日～

令和三年四月二十日です

#### 【ショートステイ

日中一時支援事業のご利用】

（八名 延べ 六十三日）

#### 【寄付・寄贈】

・後藤 弘子 様 ・竹山 育宏 様

・渡辺 今朝次 様 ・長島 章子 様

・古庄 政敏 様 ・小川 眞司 様

・和田 貴志 様 ・山下 美優紀 様

#### 【ボランティア】

・村里 和洋 様 ・佐藤 典子 様

・ときろろ 様 ・カモメ 様

誠にありがとうございました。  
利用者さんの為に使用させて頂きました。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して、記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきたく存じます。

退職者あいさつ

四月三十日付で二名の職員が退職いたします。この場を借りてご挨拶申し上げます。

#### ○ 高本 智美【主任事務員】

（平成十八年五月一日採用）

この十五年でたくさんのお会いがあり、たくさんのお事を学びました。毎日笑って過ごすことが出来たのも、利用者様をはじめ、ご家族や関係者の皆様の優しさに包まれていたからだと実感しています。今後も皆様方のご健勝とご多幸、そしてつくしの里の発展をお祈りしております。本当にありがとうございました。

#### ○ 本田 瑞希【事務員】

（平成二十四年四月一日採用）

つくしの里で働かせていただいた九年、私の至らない点でご迷惑をおかけした事も多々あったかと思いますが、その度にご家族様をはじめ職員の方々に優しくご指導いただき、沢山の事を学ぶ事ができました。利用者さんはいつも事務局に話しに来てくださり、素敵な笑顔に毎日元気を頂いていました。沢山の経験と思い出を本当にありがとうございました。



## 新入職員あいさつ

今年度は五名の職員を迎えました。この場を借りてご挨拶申し上げます。

### 【支援員 生活介護①班】

○ 池崎 希美（いけさきのぞみ）

初めてのことがばかりで戸惑う事も多いですが、同じくらい新しい発見が毎日のようにあり、面白さも感じていきます。また、先輩方の利用者さんとの信頼関係を感じられるやり取りを見ていて、憧れを感じました。まだまだ至らない事も多いかと思いますが、一つ一つの業務、一人ひとりの利用者さんと精一杯向き合いたいと思います。よろしくお願いします。

### 【支援員 生活介護②班】

○ 小城 遼真（こじょうとま）

まだ分からない事ばかりですが、先輩方のご指導の下、事故が起こらない様に、どの様に支援をしなければいけないかなど、学んでいきたいと思えます。

これから一つ一つの業務に対して精一杯取り組んで頑張っていきたいと思えます。よろしくお願ひ致します。



### 【支援員 生活介護⑤班】

○ 甲斐 賢也（かいけんや）

つくしの里に入職し、社会に出るということで、何事にも責任ある行動を心掛けていきたいと思えます。また利用者さんとの信頼関係はもちろんのこと、ご家族の方々の関りも大切にしていきたいと思っております。まだまだ未熟で、わからない事も多いですが、先輩職員に教えて頂き、少しでも早く一人前の支援員として仕事が出来るように頑張ります。どうぞよろしくお願ひ致します。



### 【支援員 生活介護⑤班】

○ 中澤 愛羽（なかざわあいは）

この度ご縁があり、つくしの里に入職致しました。大学で福祉について学んできましたが、現場に出ると、講義を受けるだけでは得られなかった新たな発見が沢山あり、日々驚きの連続です。業務に対しては緊張感を持ちつつも、利用者の皆様との交流などに楽しさも覚えながら働かせていただいております。至らない点も多々あるかと思えますが、精一杯努力して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

### 【事務員】

○ 井手 詩菜（いでしいな）

つくしの里に入職して、一か月ですが、利用者さんの中には、私の名前を呼んで笑顔で話しかけて下さる方もいて、毎日楽しく勤務することができています。ご家族の皆様には、これからご迷惑をお掛けすることもあるかとは思いますが、先輩方のご指導の下、早く仕事を覚えられるよう、精一杯務めてまいりますので、よろしくお願ひ致します。

## 編集後記

施設設立当初に植えられた梅の木は、今年も立派な実をつけてくれました。

新型コロナウイルスに振り回される私たちに、いつもと変わらない日常があることを教えてくれたようで、気持ち的和みしました。

事業結果報告と決算に向けて慌ただしい毎日が続きますが、もう少し頑張ります。

